

平成27年（暦年）の秋田空港利用状況について

1. 概 要

平成27年（暦年）の秋田空港の利用者数は、1,209,477人で前年より19,820人増加し、前年比101.7%、搭乗率は62.7%であった。利用者数が120万人を上回ったのは、平成19年以来8年ぶりである。

国内線の利用者数は、1,186,179人で前年より14,221人増加し、前年比101.2%、搭乗率は62.7%であった。

また、国際線の利用者数は、23,298人で前年より5,599人増加し、前年比131.6%、搭乗率は61.4%であった。

2. 路線別の動向

①東京羽田線

利用者数は、837,503人で前年より10,928人増加し、前年比101.3%、搭乗率は63.9%であった。機材の小型化による影響があったものの、個人や団体旅行が年間を通して好調に推移したことにより、前年を上回る結果であった。

②名古屋中部線

利用者数は、64,128人で前年より2,848人減少し、前年比95.7%、搭乗率は58.9%であった。8月のお盆期間限定（7日から17日まで）の1日1往復の臨時便の運航で利便性が高まったものの、個人や団体旅行での利用が年間を通して振るわなかったことにより、前年を下回る結果となった。

③札幌千歳線

利用者数は、103,482人で前年より293人増加し、前年比100.3%、搭乗率は52.6%であった。平成27年10月下旬から1日1往復の減便があったものの、テレビドラマの効果により団体旅行が好調に推移したことや、夏から秋口にかけての旅行シーズンでの個人を中心とする旅行需要が順調に推移したことにより、ほぼ前年並みの結果であった。

④大阪伊丹線

利用者数は、181,066人で前年より5,848人増加し、前年比103.3%、搭乗率は65.9%であった。8月1か月間の1日1往復の夏季臨時便の運航はなかったものの、春、秋の関西方面への旅行利用の高まりにより、前年を上回る伸びとなった。

⑤ソウル仁川線（国際線）

利用者数は、23,298人で前年より5,599人増加し、前年比131.6%、搭乗率は61.4%であった。日本人搭乗客は6,370人で1,200人減少し、前

年比84.1%、韓国人搭乗客は15,526人で6,786人増加し、前年比177.6%となった。6月下旬から8月下旬にかけて運休したものの、円安ウォン高の為替の影響により韓国人搭乗客が増加したのに対し、同じ為替の影響により日本人搭乗客が減少したものとみられる。

3. 貨物の動向

貨物の取扱数量は、入荷数量が862.0t、出荷数量が863.7t、合計で1,725.7tであった。入荷数量が166.7t、出荷数量が214.5t、合計で381.1tそれぞれ減少した。入荷の主な品目は、精密機器や工業部品等で、出荷の主な品目は山菜や弁当等の食品類及び工業用部品他であった。

4. チャーター便の動向

チャーター便は、秋田-台北間の国際便が39便で、国内便の運航はなかった。

利用者数は6,127人で前年より3,207人減少し、搭乗率は93.4%であった。

平成27年分（暦年） 秋田空港利用状況

1 定期便利用状況

(単位：便、人)

路線名	平成27年						平成26年						利用者数増減	利用者数対前年比
	運航回数				利用者数	搭乗率	運航回数				利用者数	搭乗率		
	予定	実績	欠航数	欠航率			予定	実績	欠航数	欠航率				
東京羽田線(ANA)	3,650	3,637	13	0.4%	541,694	65.1%	3,650	3,601	49	1.3%	541,061	59.3%	633	100.1%
東京羽田線(JAL)	2,920	2,902	18	0.6%	295,809	61.8%	2,920	2,852	68	2.3%	285,514	60.7%	10,295	103.6%
東京羽田線(計)	6,570	6,539	31	0.5%	837,503	63.9%	6,570	6,453	117	1.8%	826,575	59.8%	10,928	101.3%
名古屋中部線(ANA)	1,482	1,471	11	0.7%	64,128	58.9%	1,468	1,452	16	1.1%	66,976	61.9%	△ 2,848	95.7%
札幌千歳線(ANA)	1,460	1,409	51	3.5%	50,308	48.2%	1,460	1,432	28	1.9%	47,017	44.4%	3,291	107.0%
札幌千歳線(JAL)	1,946	1,845	101	5.2%	53,174	57.4%	2,074	2,030	44	2.1%	56,172	54.1%	△ 2,998	94.7%
札幌千歳線(計)	3,406	3,254	152	4.5%	103,482	52.6%	3,534	3,462	72	2.0%	103,189	49.2%	293	100.3%
大阪伊丹便(ANA)	2,190	2,158	32	1.5%	102,695	64.3%	2,252	2,221	31	1.4%	98,813	60.1%	3,882	103.9%
大阪伊丹便(JAL)	2,190	2,134	56	2.6%	78,371	68.2%	2,190	2,148	42	1.9%	76,405	69.7%	1,966	102.6%
大阪伊丹便(計)	4,380	4,292	88	2.0%	181,066	65.9%	4,442	4,369	73	1.6%	175,218	63.9%	5,848	103.3%
国内線計	15,838	15,556	282	1.8%	1,186,179	62.7%	16,014	15,736	278	1.7%	1,171,958	59.4%	14,221	101.2%
ソウル仁川線(KAL)	236	236	0	0.0%	23,298	61.4%	232	232	0	0.0%	17,699	51.0%	5,599	131.6%
全線合計	16,074	15,792	282	1.8%	1,209,477	62.7%	16,246	15,968	278	1.7%	1,189,657	59.2%	19,820	101.7%

2 貨物取扱量

(※小数点以下第二位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。)

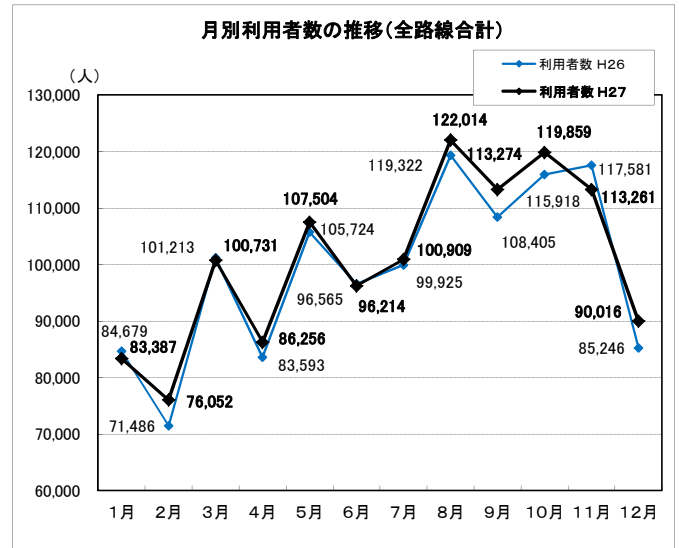
全線	平成27年	平成26年	増減
貨物入荷(t)	862.0	1,028.7	△ 166.7
貨物出荷(t)	863.7	1,078.1	△ 214.5
計(t)	1,725.7	2,106.8	△ 381.1

うち国際線(仁川)分	平成27年	平成26年	増減
貨物入荷(t)	3.4	3.0	0.4
貨物出荷(t)	0.5	0.0	0.5
計(t)	3.9	3.0	0.9

3 郵便取扱量

(※小数点以下第二位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。)

郵便取扱量	平成27年	平成26年	増減
郵便(t)	455.6	434.1	21.5



4 チャーター便利用状況

(単位：便、人)

国内・国際別	平成27年	平成26年	便数増減	平成27年		平成26年		利用者数増減
	便数	便数		利用者数	搭乗率	利用者数	搭乗率	
国内便	0	3	△ 3	0	—	143	63.0%	△ 143
国際便	39	57	△ 18	6,127	93.4%	9,191	88.4%	△ 3,064
合計	39	60	△ 21	6,127	93.4%	9,334	87.9%	△ 3,207